

# 写真映りと顔

致遠館高等学校 2431 前田匠影 2521 中川真喜人 2632 原口蓮 2638 森山真帆

## 1. 背景

現代社会ではスマートフォンが普及し、SNSなどに自分の写真を上げる人が多くいる。そんな中には「自分は写真うつりが悪い」と考へている人もいるはずである。幾度となく写真を撮っている人は経験で自分が一番良くうつる角度を知っているかもしれない。しかし、それが実際に正しいかどうかはわからない。そもそもそんなものは知らないという人もいるだろう。そこで、私たちはどの角度から撮ると写真写りがよくなるのか研究した。

## 2. 研究方法

写真を撮影する際作成したプログラムによって顔の特徴点(図1)を出し、フェイスラインを求める。フェイスラインを二次関数に近似し、 $a(x^2)$ の係数を求める。そのようにして $a$ の値が最も大きくなる写真を撮る角度を求める。

プログラムの概要は以下のとおりである。

- ① カメラでリアルタイムの映像を取得し、顔の特徴点を抽出する
- ② 顔の特徴点が得られた場合のみ、顔のフェイスラインを二次関数に近似し、一秒毎に  $a$  を導きリストに入れる
- ③ リスト内の  $a$  の最大値以上の値が出た場合写真を撮り保存する 二回目以降写真を保存する際は上書き保存する
- ④ キー「q」を押すとカメラを終了する
- ⑤ 保存した写真と  $a$  を提示する

このとき、複数回実験した時の  $a$  の値を比較するため顔とカメラの距離は60センチに保つ。

また、プログラムを実行する際は顔の角度が万遍なく変化するようにする。

次に、顔の角度を測定するため「head-pose-estimation」で回転行列 ロール・ピッチ・ヨーによって顔の角度を調べる。

